



しろやぎさんからの手紙

病児の保育しろやぎさんのポシェット

H30年11月 NO.28

頬をかすめるひんやりとした風に、秋から冬への季節の移り変わりを感じるこの頃。

インフルエンザの流行の話もちらほら聞かれる季節になりました。体調管理に気を付けて過ごしましょう。

【風疹（ふうしん）の届け出が増えています】

風疹の届け出数が大幅に増加しています。

2018年11月11日までに全国で2032例の届け出があり、そのうち1972例は7月23日以降の報告です。

現在までで、昨年1年間の届け出数を大幅に上回っています。患者の多くは30～50代の男性で、首都圏を中心に報告されています。

妊娠中の女性（特に妊娠20週頃まで）が風疹に感染すると胎児が先天性風疹症候群（CRS）に罹患する可能性がある為、注意が必要です。

【風疹（ふうしん）とは】

風疹は、風疹ウイルスによって起こる急性の発疹性感染症です。1人の風疹患者から5～7人（風疹の免疫をもっている人にはうつりません！）にうつるという強い感染力を有します。風疹の感染経路は飛沫感染で、ヒトからヒトへ感染伝播します。

感染すると約2～3週間後に発熱や発疹、リンパ節の腫れなどの症状が現れます。風疹の症状は、子どもでは比較的軽いのですが、まれ（2000人～5000人に1人位の割合）に脳炎や血小板減少性紫斑病などの重篤な合併症を起こすことがあります。入院治療を必要とすることもある為、決して軽視はできない疾患です。

妊娠20週頃までの女性が風疹ウイルスに感染すると、胎児が眼や心臓・耳等に障がいを持つ先天性風疹症候群を発症することがあります。その確率は、妊娠1ヶ月で風疹に罹った場合では50%以上、妊娠2カ月以上で風疹に罹った場合では35%と報告されています。

妊娠中の女性は予防接種が受けられません。風疹が流行している地域において、抗体を持たない（又は抗体価の低い）妊婦は、可能な限り不要不急の外出を避け、やむを得ず外出する際は、可能な限り人混みを避けるなど、風疹にかからないように注意してください。また、妊婦の周りにいる人（妊婦の夫・子ども・その他の同居家族等）は、風疹に感染しないように予防に努めてください。同居家族で抗体価が低いことが判明した方については、妊婦と胎児を守る観点からも予防接種を受けることについて積極的に検討してください。

【予防方法】

風疹の予防には、予防接種が最も有効な方法と言えます。風疹ワクチン（主に接種されているのは麻疹風疹混合ワクチン）を接種することにより、95%以上の方が風疹に対する免疫を獲得できると言われています。また、2回接種をする事で、1回の接種では免疫がつかなかった方の多くに免疫をつけることができます。定期接種の対象者は、1歳児・小学校就学前1年間の幼児ですが、定期接種の時期でない人で「風疹にかかったことがなく、ワクチンを1回も受けたことがない人」は、お早めに、那珂キッズクリニック小児科にご相談ください。

また、妊娠を希望する女性・妊婦の家族で抗体を保有していない方・今まで明らかに風疹にかかったことがなく抗体検査を受けて風疹の抗体が低い方は、早期にワクチンを接種しましょう。

※なお、過去の制度の変遷から、平成2年4月2日以降に生まれた人は定期接種で2回、昭和54年4月2日～平成2年4月1日に生まれた人は定期接種で1回、接種機会がありました。昭和54年4月1日以前に生まれた男性は定期接種の機会が0回で、この年齢の男性の多くは風疹ワクチンが未接種です。

【保育所・託児所・幼稚園・小学校】

子ども達の集団生活の場では、全ての子どもと職員の方のワクチン接種状況・罹患歴を予め把握しておくことが最低限必要です。また、1歳以上で麻疹風疹ワクチン未接種のお子さん、年長さんで2回目の麻疹風疹ワクチン未接種のお子さんには、早期に接種を推奨し、それぞれの接種が完了するまで各施設で継続的に追跡調査を行い、園として全員の接種状況を把握しておくことが必要です。

流行状況（H30.10/1～10/31 検査陽性者のみ） 対象：当院受診者

| | 市内 | | 市外 | |
|-------------|------|-----|------|-----|
| | 未就学児 | 就学児 | 未就学児 | 就学児 |
| 溶連菌 | 96 | 96 | 106 | 64 |
| RSウイルス | 18 | | 13 | |
| アデノウイルス | 6 | | 1 | |
| 水痘 | 1 | 1 | 1 | |
| ヘルパンギーナ | 1 | 1 | 1 | |
| マイコプラズマLAMP | 1 | 3 | | 1 |
| インフルエンザB | | | | 1 |
| りんご病(伝染性紅斑) | 3 | 3 | | |

しろやぎさんのポシェットのお部屋から

◇しろやぎさんのポシェットでは、施設内感染を防止するために、感染症別・病状別・診断別にお部屋をわけています。◇お隣同士のお部屋で過ごすときも、部屋の間はガラス窓になっているので、お互いの部屋の様子がよく見えます。

◇今日は、お部屋は違うけど、工作は同じものを作っていました。雨の日にデパートの入り口によく置いてある傘袋を使ってロケット作りです！袋に油性ペンで好きな絵を描いて膨らまして、画用紙で羽根などを作ってつけたら出来上がり。1、2、3！と声をかけて、お隣さん同士、一緒に何回も飛ばしました。これが凄く良く飛ぶんです！

◇小学生の女の子が病児保育を利用された日の事です。この日は、しろやぎさんのお部屋で過ごしました。ここには大きなホワイトボードがあって、女の子は素敵な絵を描いてくれました！

「しろやぎさん、ぶちやぎさんのお部屋には行ったことあったけど、しろやぎさんのお部屋は初めて！」とのこと、本や玩具がお部屋ごとに違って楽しいね、と言ってくれました。

◇しろやぎさんのポシェットには、こやぎ、ことり、てんとうむし、花、月、しろやぎの合計6つのお部屋があります！初めてのお子さんでも、大丈夫！体調と病状とお子さんのご希望にあわせて楽しく過ごせるお部屋になっています。



お問い合わせやご相談は

那珂キッズクリニック小児科

病児の保育しろやぎさんのポシェット

Tel: 090-2542-5630

